

探検!!松本家



松本家住宅について

松本家住宅は江戸時代に建てられ、ほぼそのままの形で残っている非常に貴重な建物です。漬物蔵には文政9年(1826年、約200年前)に建てられたことを示す墨書(墨で書いた文書のこと)があります。米蔵には嘉永元年(1844年、約180年前)の墨書があり、米蔵ができた年、もしくは屋根を修理した時のものと考えられています。主屋もこれらの蔵と同じくらいの時期に出来たと推定されています。

松本家住宅の前の道は、江戸時代の後半には陣屋の前から美濃、尾張方面への重要な道となり、商店が立ち並んでいました。この家は、元々薬種業(昔の薬屋)の原三右衛門(通称「原三」)の商店であり、また住宅でもありました。明治21年(1888年、約130年前)に作られた高山の大きな商家を石版画であらわした『商工技芸飛騨之便覧』という本にもこの家を取り上げられています。その後、明治45年に原家は安川通りに移り、松本家の所有となりました。松本家は高山の松本町の出身で、蠟燭・練油(髪に付ける油)商から始まり、明治30年代には煙草製造卸、40年代には金貸業も営んでいました。

建物は主屋が道路に面して建ち、敷地奥には主屋と中庭を挟んで土蔵が並んでいます。主屋南側には「とおりどじ」があり、土蔵前まで土足のまま行くことができました。主屋は、店舗であるとともに家族や使用人の寝起きする場所で、時には座敷で宴会などが行われることもありました。中庭は、植物などを植え鑑賞の空間として、風を通し光を取り入れるための重要な場所でした。土蔵は倉庫として使うとともに、火災の際には家財道具を守るためのものでした。

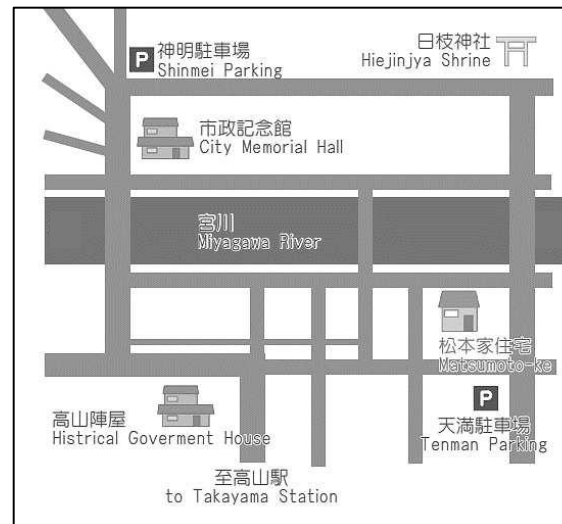
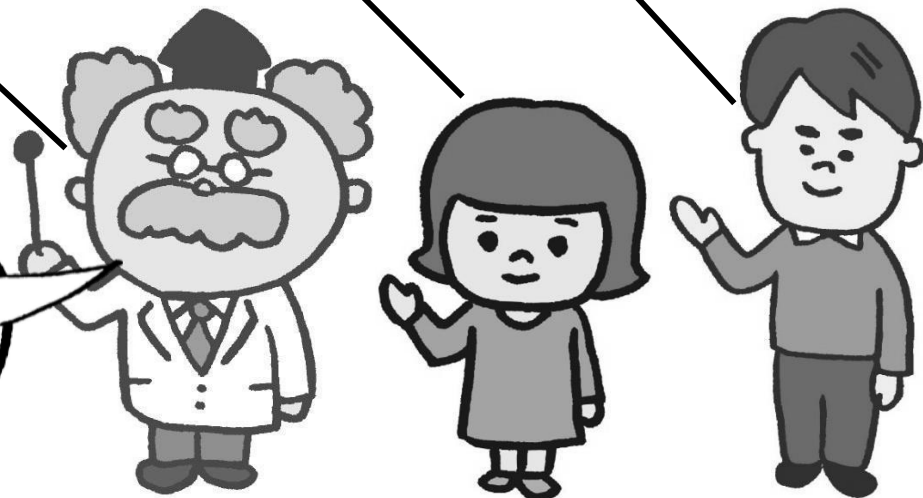
名称	松本家住宅
国指定年月日	昭和46年12月28日
所有者	高山市
所在地	上川原町125番地
時代	主屋、米蔵は江戸時代後期、漬物蔵は文政9年(1826)
員数	3棟
法量等	主屋(1棟) 桁行10.8m、梁間14.5m、2階建て、切妻造、鉄板葺 米蔵(1棟) 土蔵造、桁行7.9m、梁間5.8m、2階建、切妻造、南面庇付、鉄板葺 漬物蔵(1棟) 土蔵造、桁行5.2m、梁間4.2m、2階建、切妻造、東面庇付、南側蔵脇土間付属、鉄板葺
附	主屋漬物蔵間通り土間(1棟) 桁行9.5m、梁間2.8m、両下造、南面流し場付属、鉄板葺

まちなみ博士
高山の歴史の事なら
なんでも知ってる博士だよ

みーちゃん

まーくん

私たちが案内
するよ



◆見学について◆

入館料 無料
開館日 土曜・日曜・祝日及び春の高山祭期間
開館時間 午前9時～午後4時30分
問合せ先 0577-36-5600(開館日)
0577-34-6550(開館日以外)

